

「県立図書館に関するアンケート」単純集計結果 分析

【分析の視点】

神奈川県立図書館にはどのような利用者がいるのか？

1 利用頻度について

- ・ 利用頻度は「月に数回」244人（46.3%）が最も多く、次いで「年に数回」126人（23.9%）が多い。この傾向は前年度と同様である。（第1表・第1図）
- ・ 男女別の利用頻度では、月に数回以上の利用の割合が女性で減少した（2020年49.5%→2021年45.9%）（第1表・第2図・第3図）

2 来館目的について

- ・ 「個人的な利用（趣味・自習）（62.2%）が最も多く、前年と変わらない傾向を示しているが、1.5ポイント増加している。（第2表・第4図）
- ・ 「仕事上の利用」（14.8%）は前年より3.1ポイント増加している。（第2表・第4図）
- ・ 利用しているコンテンツとしては「図書」が最も多く（32.1%）、次いで「新聞・雑誌」（14.0%）となっている。「新聞・雑誌」は前年より2.7ポイント増加し、「音楽・映像資料」は2ポイント減少した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため新聞（当日）閲覧コーナーは昨年から新館1階通路に移動しており、それが利用者に着したものと考えられる。
- ・ 利用しているサービスでは「調査・相談」（8.5%）が前年より1.3ポイント増加している。また「席の利用」（8.2%）は前年より0.4ポイント減少している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために昨年から引き続き座席数を減らしていることが理由として考えられる。（第2表・第4図）
- ・ 男女の選択率の差が倍以上あった項目は、「新聞・雑誌の利用」（男性16.3%、女性4.2%）と、「音楽・映像資料の利用」（男性11.5%、女性2.5%）である。「新聞・雑誌の利用」の傾向は前年と同じである。（第2表・第5図）

3 県立図書館の選択理由について

- ・ 「専門的な資料があるから」が回答者の49%と最も多く選択され、前年度より2.7ポイント増加している。県立図書館の収集方針が理解されるとともに「新棟」開館に向けて新規に収集されている資料に対する評価が反映されていると考えられる。（第3表・第6図）
- ・ 「静かな環境だから」が48.2%と昨年に比較して0.1ポイント減少したものの男女ともに最も多く選択された。（第3表・第7図）

4 利用場所について

- ・ 利用場所の上位は「閲覧室1階（貸出カウンター側）」47.8%、「閲覧室2階」30.9%、「新館3階かながわ資料/新聞・雑誌室」20.9%となっており、前年の傾向と変わらない。（第4表・第8図）。
- ・ 「閲覧室2階」の利用率が前年の24.1%から30.9%と6.8ポイント増加し、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年の31.3%に近づいている。（第4表・第8図）。
- ・ 回答者の選択率が3%未満の利用場所は「セミナールーム・多目的ルーム」0.4%、「展示コーナー」と「生涯学習情報コーナー」が0.9%、「女性関連資料室」が2.5%であった。調査期間中にセミナールーム・多目的ルームはともに開放は中止されており、また展示コーナーにおける展示も実施されていない。（第4表・第8図）

- ・ 男女の選択比率の差が倍以上あった項目は「音楽・映像コーナー」（男性 17.4%、女性 5.8%）、「女性関連資料室」（男性 0.5%、女性 7.5%）である。「女性関連資料室」の利用は女性が多いという傾向は前年と同様である。（第 4 表・第 9 図）

5 利用の成果（アウトカム）について

- ・ 30%以上の回答者に選択された項目は「研究や調べものが進んだ」34.5%、「知識・教養が深まった」30.4%、「余暇を有意義に過ごせた」30.7%である。（第 5 表・第 10 図）
- ・ 前年に引き続き、最も多く選択された項目が「研究や調べものが進んだ」（34.5%）であることは、基本理念である「新たな『知』を育む『価値創造の場』」としての役割が果たしているものと考えられる。（第 5 表・第 10 図）
- ・ 男女ともに最も多く選択された項目は「研究や調べものが進んだ」である（男性 34.0%）、（女性 34.2%）。（第 5 表・第 11 図）

6 満足度について

「全般的にみた県立図書館の満足度」について（第 6 表）

- ・ 「満足」50.7%であり、前年の 45.9%から 4.8 ポイント上昇した。「どちらかといえば満足」43.3%を合計すると 90%以上となり、前年度に引き続き概ね現状に満足している方が利用しているという傾向である。（第 6 表・第 12 図）
- ・ 男女別の回答においては男性「満足」・「どちらかといえば満足」が 94.6%、女性「満足」・「どちらかといえば満足」が 91.6%と男性の満足度が高い。（第 7 表・第 13 図）

「資料やサービスについての満足度」について（第 8 表）

- ・ 「満足」「どちらかといえば満足」の合計が 70%を超えた項目は、「職員の対応」91.4%、「開館日・開館時間」87.9%、「施設・設備」85.1%、「図書」76.6%の 4 項目である。うち、「満足」が最も多く選択された項目は、前年同様、「職員」の対応 53.0%である。「どちらかといえば満足」38.4%との合計からも最も満足度の高い項目であることがわかる。中央値もこの項目のみ 4 を示している。（第 8 表・第 14 図）
- ・ 「満足」「どちらかといえば満足」の合計が 50%未満の項目は、「音楽・映像資料」47.1%、「調査・相談」45.2%、「生涯学習情報コーナーのパンフレット・チラシ」41.6%、「生涯学習相談」30.2%の 4 項目である。うち「わからない」が 50%を超えた項目は「生涯学習相談」67.6%、「生涯学習情報コーナーのパンフレット・チラシ」56.8%、「調査・相談」52.2%の 3 項目であった。認知度の低さ及び利用経験の無さにより評価できない利用者が多いという結果である。これは昨年と同様の傾向である。（第 8 表・第 14 図・第 15 図）
- ・ 「不満」が最も多く選択された項目は「音楽・映像資料」2.3%であるが、「どちらかといえば不満」との合計値は「図書」15.3%が最も高く、昨年と同様となった。（第 8 表・第 14 図）
- ・ 「満足」の選択率は 9 項目すべてで女性が高く、また「不満」の選択率も 9 項目中 7 項目で女性が高かった。（第 9 表・第 10 表・第 16 図・第 17 図）
- ・ 男性の回答の中央値は 3 が 8 項目、4 が 1 項目であった。「満足」が 40%を超えた項目は、「職員対応」50.6%、「開館日・開館時間」45.3%、「施設・設備」41.2%であった。（第 9 表・第 16 図、第 18 図～26 図）

- ・ 女性の回答の中央値は3が8項目、4が1項目であった。「満足」が40%を超えた項目は、「職員の対応」61.6%、「開館日・開館時間」50.0%、「施設・設備」42.1%、「図書」40.9%の4項目であった。(第10表・第17図～第26図)

7 回答者について

1) 性別

- ・ 「男性」374人(71.0%)、「女性」120人(22.8%)で、前年と同様に男性の割合が高い状態が続いている。「無回答・無効回答」29人(5.5%)は、前年より半減したが、アンケート期間中「電子書籍に関するアンケート」と「読書通帳に関するアンケート」を同時に実施したため、回答者は複数枚のアンケート用紙に回答することになり、利用者の属性を記入する裏面への回答に至らなかったことが要因の一つであると考えられる。(第11表・第27図)
- ・ 前年との比較において、男女の比率に3ポイント以上の変化はない。

2) 年代

- ・ 「70代以上」が125人(23.7%)で最も多く、「19歳以下」が33人(6.3%)で最も少ない。世代別傾向は前年と比較し、「30代」～「50代」が減少し、「20代」・「70代」以上が増加した。(第12表・第28図)
- ・ 男女別で見ると、全世代で男性の比率が高い。年代が上がるにつれて、その割合が高くなる傾向にあり、40代以上は70%以上となっている。(第12表・第29図)

3) 仕事

- ・ 「フルタイム勤務(会社員・公務員)」155人(29.4%)が最も多く、次いで「無職・退職」149人(28.3%)が多い。(第13表・第30図)
- ・ 男性の比率が女性の倍以上あった項目は、「自営業」(男性11.2%、女性4.2%)、「無職・退職」(男性34.5%、女性14.2%)、女性の比率が男性の倍以上あった項目は「専業主婦・主夫」(男性0.5%、女性11.7%)、「学生」(男性9.9%、女性36.7%)である。(第13表・第31図)
- ・ 前年と比較し、「無職・退職」が8ポイント、「学生」が2ポイント増加し、「アルバイト」が1.3ポイント減少した。

4) 住所

- ・ 県内在住者が90%近くを占めている。県内の内訳では、県立図書館所在地である横浜市在住者が80%以上を占めており、この傾向は前年と同様である。(第14表・第15表・第32図・第33図)
- ・ 県内在住者の内訳を見ると、減少した地域は、横浜市(2.1ポイント減)であり、増加した地域は、川崎市と県央地区(ともに0.8ポイント増)、湘南地区と県西地区(ともに0.4ポイント増)である(第15表・第33図)
- ・ 県内在住者の男女の内訳を見ると、男女の比率の差が倍以上となった地域は県央地区である。横須賀・三浦地区と県央地区では、女性の比率が高い傾向が見られた。(第15表・第34図)